



バラの接ぎ木に挑戦！

切り花種の絞り模様の薔薇を手元に残したい時
一般のナーサリーでは株が手に入りません。

それで、自分で接ぎ木や挿し木に挑戦することになりました。

挿し木の様子は、[『バラの挿し木』](#)にまとめてあります。
昨年から初めて、挿し木の方はずいぶん成功率が上がってきました。

一方で接ぎ木は、2007年12月半ばが初挑戦でした。

最初の頃は、台木のカットの際に自分の指を切ったりと
だいぶ苦戦しましたが、やっとなんとか成功してきましたので
まとめてご紹介いたします。

バラの接ぎ木は、12月末から翌年2月までが適期とされます。

参考にしたのは

[『別冊NHK趣味の園芸 バラ大百科』](#)

P 336[切りつぎ]のページです。

なお、P B R（生育者権利）のある品種では、個人で楽しむ以外の
目的で増やすことはできませんのでご注意ください。



【準備するもの】

1.ノイバラの台木

私は、Yahooオークションで購入。

10本単位で2000円くらいから。

2.カッター

値段の高い小刀より

300円くらいの替え刃式

カッターの方がよく切れる。

3.ロウソクを湯煎で溶かしたもの

4.接ぎ木テープ

5.剪定ばさみ

6.鹿沼土細粒または赤玉小粒

あるいは種まき・挿し木用土



台木のカットは、根を体と反対側に向けて、鉛筆を削るように押し切ると自分の指を切らずに安全。



出来るだけカットする面を平らにスムーズにする。

←お写真は、まだ上の部分を残したまま、仮に差し込んだところです。

カット後に、台木の上の部分（台木の茎が残っている部分）を剪定ばさみで切り取ります。

それから、接ぎ穂を差し入れて台木と接ぎ穂の形成層を合わせるように注意してテープで巻きます。形成層を合わせるコツは、上記の本をぜひお読みください。

台木の方が太い場合は、どちらかの端

に接ぎ穂の形成層を合わせます。

接ぎ穂の乾燥防止のために
60度くらいの溶けたロウの中をサッとくぐらせる。

あるいは接いだテープの部分だけロウをスプーンで垂らしてもいい。
濡らした鹿沼土細粒で台木ごと3.5号ビニールポットまたは5号の硬質プラポットに植えつける。

トレイにいれ、ビニール袋で覆い室温10～20度くらいの半日陰の場所で管理する。

一番成績が良かったのは、加温した温室の棚の下。
プラスチックの衣装ケースの底に濡れた新聞紙を敷いて、その上にポットを置き、衣装ケース全体を大きなビニール袋で包んで管理したもの。

台木は加湿にせず、接ぎ穂は乾燥させない。

3週間くらいすると接ぎ穂から新芽が伸びてくる。(*^.*^)

竹の子のような太い新芽なら合格。
←お写真は
2月14日に接いだ**フィエスタ**、3月9日撮影。

失敗した場合は、接ぎ穂が黒く変色してくるので判ります。(T▽T)
袋に徐々に穴を開けて、外気に慣らします。

新芽が伸びてきたと喜んでいきなり取り出したことが、最初の時の失敗の原因だったようで



した。(-;-)



←フィエスタ

上のお写真の**フィエスタ**がさらにたくましく伸びた様子。

途中でいったん葉先が黒く縮れ、心配しましたが、その後もう一本わき芽が伸びてスクスクと成長中。
(^。^;)ホッ

袋から出すタイミングや光の調整が難しい。

3月29日撮影。

フィエスタが開花した様子を[こちら](#)のページで公開しておりますのでどうぞ。





これは、12月に接いだものの
失敗した台木の反対側に
再度切り込みを入れて、接いだ結
果、
二度目に成功した
ピンクインテューションの株です。



2008年1月13日に接ぎ木し、
2008年2月24日撮影した株です。
少しずつ袋の穴を広げて、新芽が
十分伸びた時点でいったん袋から
出しました。
この後、温室内の日が当たる場所に
移しました。



同じく、**ラナンキュラ**も成功。
こちらは挿し木苗で既に開花してい
る
株より接ぎ穂を採りました。



接ぎ穂は、新鮮な方が成功率は
高いです。

すぐに接げない場合は、挿し木にし
て
おいて、発根が確認できた頃に接ぎ
穂
とするのが良いように思います。

このまま順調に成長してくれること
を
願っています。



上手く育ってくれました。

肥料のない土に植えてあるので、やや
ヒョロヒョロした感じは否めませんが、
病気もなくしっかりした株に育って
くれ
ました。

接木した1月13日から約10週間目。

向って左が**ピンクインテューション**。
右が**ラナンキュラ**です。

(2008年3月21日撮影)

4月に入ったら、普通の土にポット
から
そっと植え替えて定植予定です。



どちらももう**小さな蕾**が付いています。
これは**ピンクインテューション**の
蕾。

(2008年3月21日撮影)

開花した様子を[こちら](#)のページで
公開していますのでご覧下さい。



1月17日に接木した
D A ローズ・**ロザリンデ**が今頃にな
って
芽が伸びています。

実は、温室の棚の下奥にあった
ので、こんなに伸びているのに全く
気付いてやらなかった・・・。
(^o^)

切花用イングリッシュローズである
ロザリンデは、オランダからの
輸入切花でしたので、ぜひ手元に
置きたくて、接木してみました。



(2008年3月29日撮影)



向って左は3月29日撮影の**カラホ**。
こうした小さな芽は枯れてしまうこ
とも多い
ので心配していたんですが、その後
スクスクと成長し、右のようになり
ました。

(2008年4月28日撮影)





2月23日に接いだもう一本の**カラホ**には
たくましい芽が出てススクと成長しました。

向って左き2008年4月9日撮影
向って右は2008年4月28日撮影



向って左は、ラ・カンパニユラ。
右が上のロザリन्द。
いずれももう蕾が付いてます。
(2008年4月28日撮影)

初年度の成功率はやっと5分の1。
初回より二度目、二度目より三度目の
方が成功率が上がりました。
特にカラホは5株中3株成功しています。
失敗した台木さん、ごめんなさい。
<(_ _*)>
来年はもっと腕を磨きましょう。
コツは形成層をしっかり合わせるこ
とと
その後の管理にあると感じました。



2009年、今年はバラ農園の方より直接
台木を50本分けて頂きました。
1本150円と格安ですが、どれも
接ぎや
すい良い台木でした。
気に入った切花が手に入ると、順次
接い
です。
2年目の今年は、指を切るようなこ
ともな
く、スムーズに作業できました。
←接ぎ木後に台木を植えた様子。
この後、ビニール袋を被せて輪ゴム
で止
てから、温室の棚の下に置まし
た。
種類は万華鏡とアブダカダブラ。



←万華鏡

(当時はまだ名前未定でした)
(2009年2月1日)



1月18日に接ぎ木したフラウリーノの新芽が伸びてきています。

支柱の向きを変えるために、やむなくビニール袋を外しましたが、いきなり外気に触れると穂木が枯れ込むことがありますので、ご注意ください。

(2009年2月11日撮影)

なお、**台木の芽は全て切り取る**位置に接いでいます。

台木の芽を残すとそちらが伸びてきて穂木に栄養が回りません。

台木の芽は、赤くて細いので、もし伸びてきたら全て切り取った方がいいでしょう。

接いだ部分に水が入らないように上からの水遣りはしません。

受け皿に水を入れて下から吸わせるか濡れた新聞紙の上に置いておきます。